May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 適用範囲

本書は、DF61Y シリーズのハーネス手順について規定するものです。

2. コネクタ品名

品　　名	一般名称
DF61Y-2S-2.2C(%%)	圧着ソケット
DF65-****SCF(A)(%%)	圧着端子

%%:仕様番号
****：適合番線（AWG）

3. ハーネス手順

ハーネス作業は、(1)ケーブルストリップ、(2)圧着、(3)圧着ソケットへの圧着端子挿入、(4) 端子挿入状態の確認の手順で行います。

(1)ケーブルストリップ

圧着品質基準書（ATAD-H0733）に基づき、ケーブルをストリップします。
その際、ケーブル芯線に傷が入っていないかご確認下さい。

(2)圧着

アプリケータ（AP105-DF65-****S）を用いて圧着します。
圧着条件表、圧着品質基準書（ATAD-H0733）に基づき、圧着ハイト、圧着形状をご確認下さい。

(3)圧着ソケットへの圧着端子挿入

圧着された端子のケーブルを持ち、それを圧着ソケットの各端子穴へ挿入します。
（図１の矢印方向に端子を挿入して下さい。）

(4)端子挿入状態の確認

圧着端子のランス掛部が圧着ソケットのランスに掛かっていることをご確認下さい。

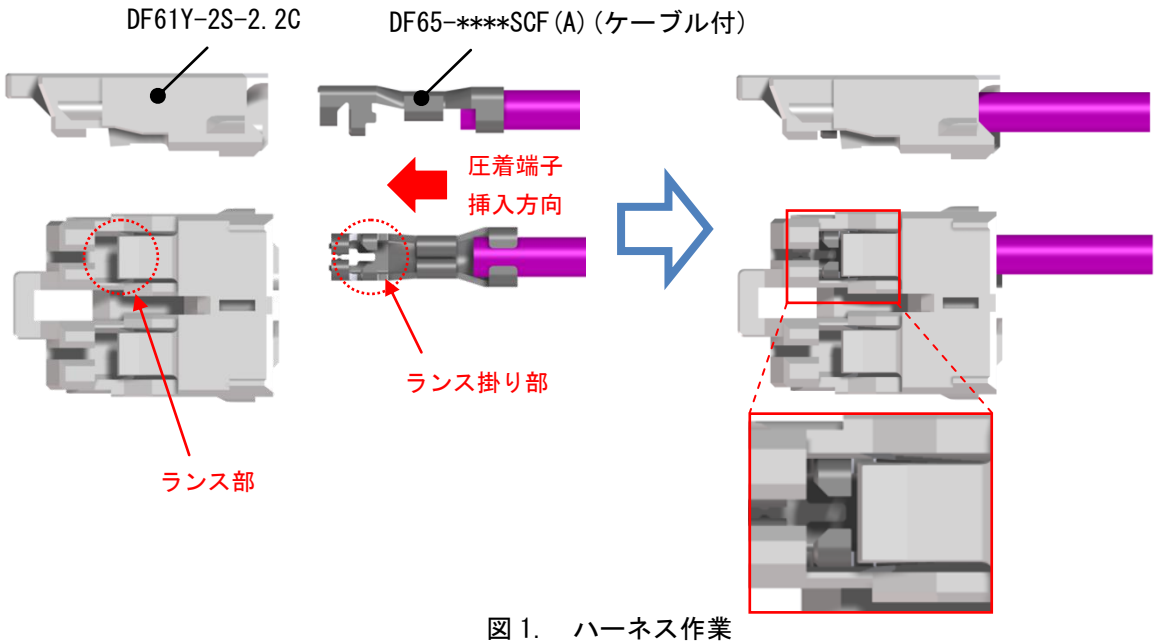


図 1.　ハーネス作業

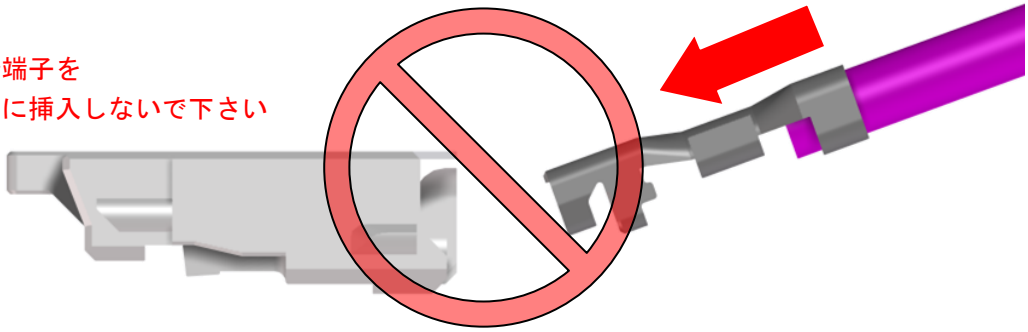
	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
0					

TITLE DF61Y シリーズ　ハーネス手順書	HIROSE ELECTRIC CO., LTD.	
	APPROVED	KI. AKIYAMA　15.03.20
	CHECKED	TS. FUKUSHIMA　15.03.19
	DESIGNED	ST. SATO　15.03.19
	WRITTEN	ST. SATO　15.03.19
TECHICAL SPECIFICATION	ATAD-H0833-00	0　1 / 2

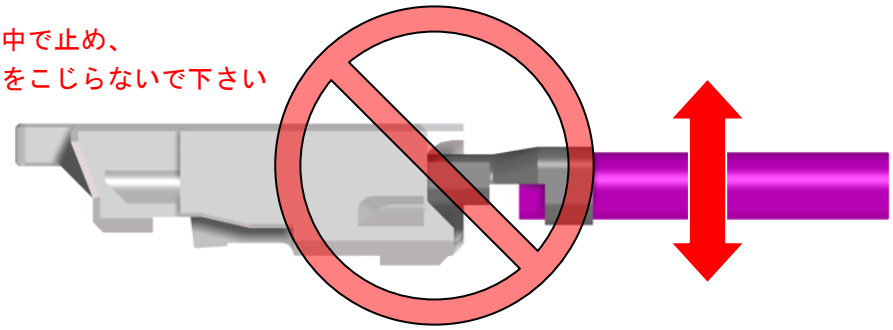
FORM HC0011-9-1

製品性能を維持する為、下記　操作を行わないよう、ご注意下さい。

圧着端子を
斜めに挿入しないで下さい



挿入を途中で止め、
圧着端子をこじらないで下さい



ハーネス完了後、過度にケーブルを
ねじらないで下さい

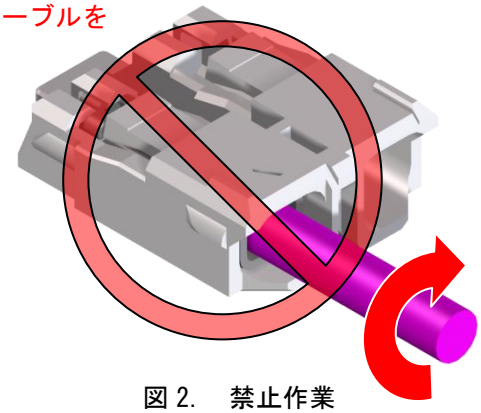


図 2.　禁止作業

※　圧着端子のリペアについて

一度挿入した圧着端子を抜く場合は、DF-C-P0(B)又は先の尖った針などを用いて圧着ソケットのランスを持ち上げながらケーブルを引っ張って引き抜いて下さい。

リペアを行った圧着ソケットは再利用せず、新しい圧着ソケットをご使用下さい。
リペアを行ったことで圧着端子の保持力が低下している可能性があります。

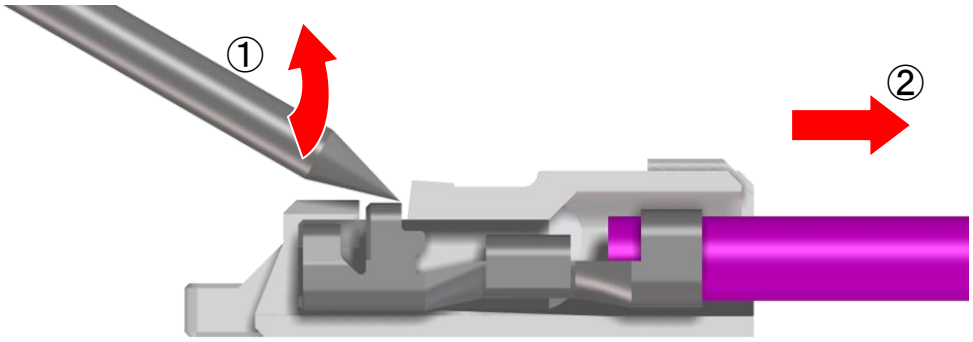


図 3.　圧着端子のリペア

May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.